



せんしょう苑 望洋荘 便り

第102号
平成24年
5月発行

「リヤカー」の思い出

社会福祉法人りんさく福祉会

理事長 須田 混

今の若い方々には聞き慣れない言葉でしょうが、リヤカーとは金属製のパイプと空気入りのタイヤで構成された二輪の荷車です。大正十年頃に日本で考案され、サイドカーにならって後部(Rear)に位置する車の意でリヤカーと命名されたと言われています。というのは、それまでの荷車の主流だったのは江戸時代以来の大八車でした。この大八車は大きな木製のスポーク型車輪(接地面を鉄で巻いた)で、左右輪が車軸で連結されて荷板床下を通る原始的構造の為に色々と弊害がありました。特に振動が激しい故に、物によっては荷痛みのおそれもあり、運搬できる貨物が限定されるのが大きな悩みでした。

これら大八車の問題点の多くが、リヤカーでは金属部材の導入や自転車・サイドカーの手法を応用することで解決してきました。ごく細身の鋼管で牽引用の梶棒部分までを含むフレームを組み立て、車輪はオートバイや自転車と同様に金属製のワイヤースポークを利用。車軸はなく、自転車同様のボールベアリングで左右独立支持された両輪間に荷台床を落としこんだ形態となっています。更に車輪には空気入りゴムタイヤが詰められています。金属製のスポーク車輪は大正時代、既に日本国内の自転車工場で

大量生産されていました。軽量なうえ、車体からの脱着も簡単で、日本各地に出現していた自転車店での修繕も容易となっていました。又は、ゴムタイヤは防振にも役立つっていました。

大正時代後期からは小口輸送向けに、小型トラックの一種であるオート三輪が都市部から徐々に普及し始めていたが、当時の日本における中小零細事業者の多くにとっては極めて高価なもので、容易に導入出来なかつたようです。対してリヤカーは、市井の零細な工場でも製作可能で、ごく安価な存在であり、本格的なモーターゼーション以前であった太平洋戦争前後の長期間、手牽き、もしくは自転車牽引などで、小口輸送の簡便な手段として極めて広範に用いられたものでした。

小生の田舎でも、農作業や山林の仕事に農耕用の牛馬が、大八車(荷車)を牽引しての作業、また作物を運ぶリヤカーが、つい最近まで普通に利用されていました。稲穂や麦の穂が風になびき、耕地の間の細道を荷車を曳いて人々が歩いている田舎の風景が今でも目に浮かぶのは小生だけでしょうか。戦後のモーターゼーションの進展で自動車徐徐に普及するにつれ、荷馬車やリヤカーは次第に衰退していきました。しかし、今でもラーメン、おでんなどの飲食の屋台として、時には豆腐、石焼き芋等の販売、隣り近所の廃品回収など結構見かけられています。望洋荘やせんしょう苑に住む方々と共にリヤカーにまつわる昔の思い出話を基に乗り物などの変遷についてお話ししてみても如何でしょうか。



アクアマリン見学 望洋荘

五月三十日(水)午前十時、勿来ユニット外出ツアーでアクアマリンへ見学に出かけました。震災後、水族館に戻った魚や動物達を見る事が出来て嬉しかったようです。浜で育った方々ですので、魚の名前を本当によく存じてました。

お茶を飲んだり、売店でお買物をしたり、楽しい一時を過ごされたようです。



ユニット内お食事会

五月二十七日(日)十一時半より四倉ユニットでお食事会を開きました。利用者さん希望のステーキを鉄板で焼き、立ち昇る煙と香りに刺激されたのか、全員完食なさいました。



貼り絵製作 望洋荘

様々な色のお花紙をちぎり、小豆ぐらいの大きさに丸めて型を取った台紙に接着剤で張り付けていきます。少しずつ丁寧に作り上げていきますので、なかなか根気と時間が必要ですが、出来あがった時はひとしおの喜びがあります。完成した時の歓声をみなさんにもお聞かせしたいところです。



節句お飾りの前にて

事務所の前に飾られた「鎧兜」の前にて、薄磯ユニットの女性入居者三人組さんが、お揃いでカメラの前でニッコリでした。



理事長 県知事表彰受賞

平成二十四年度の福島県知事表彰をこの度、りんさく福祉会理事長須田 滉が受賞致しました。長年にわたる地域医療・福祉の発展、更には医師会の役員として尽力した事を讃えられての受賞でした。理事長は「開業して三〇余年、まだまだ地域医療の貢献度は不十分のところ、このような賞を受けることは身に余る榮譽であり、感謝しております。」と語っております。更に「今後もこの名誉に恥じることのないよう一層精進し、地域の医療・福祉の発展に微力ながら貢献していく所存です。」と決意を語っております。理事長この度の受賞誠におめでとございます。

地域密着型介護老人福祉施設 せんしょう苑

「出前のお食事会」
みまや南ユニット



5月13日(日)みまや南ユニットの昼食を海鮮丸より、出前を取って食事会を開催しました。事前に入居者様に何が食べたいか聞き取りお昼に届くように注文しました。お寿司にマグロ丼、から揚げ、お蕎麦にうどん、色とりどりの御馳走に驚きながらも大喜びでした。普段は小食な方も時間を掛けながら完食されていました。大変好評で次はウナギが食べたいという声もあり、今後も継続していきたいと思えます。

「ゲストでお茶会」

「誕生会」
みまや南ユニット



5月6日(日)みまや東、23日(水)みまや南、31日(木)みまや西ユニットがゲストにお茶会に出掛けました。6日のみまや東ユニットのお茶会は、つくば市で竜巻により大きな被害があった日で、午後より空が暗くなり激しい雨が降り中止を考えていましたが、何とか天気が回復して出掛けることができました。

5月28日(月)みまや南ユニットの猪狩クニ子様(98歳)佐々木ヨシエ様(87歳)の誕生会を開催いたしました。猪狩さんはせんしょう苑で一番のお姉さま(最高齢者)です。当日はご家族様がみなさんと特大の誕生ケーキの差し入れがあり、ユニット全員で二人の誕生日を祝いました。

「負担限度額認定証」の更新について

施設利用時の食事代と居住費については、全額自己負担となっておりますが、世帯の年間所得が二六六万円以下（市県民税非課税世帯）の方については、食事代と居住費が減額されます。このためには負担限度額認定証申請書を所轄の市町村役所に申請して「負担限度額認定証」を発行してもらう必要があります。これらの手続きは施設でまとめて行っております。この「負担限度額認定証」の有効期限は、毎年六月三十日となっておりますので、毎年更新の手続きが必要となります。今回も更新手続きは、施設でまとめて行いますが、市町村より出された結果については、個々の平成二十三年度世帯所得に対して判断されており、ご不明な点などございましたら、直接所轄の市町村役所「長寿介護課」等にお問合せください。よろしくお願いいたします。

【六月の行事予定】

望洋荘

- 六月 二 日（日） 十一時半より
「愛知県医師会交響楽団演奏会」 塩屋岬ホール
- 六月 四 日（月） 十時半より
「エブリアお買物ツアー」 豊間ユニット
- 六月 十 日（日） 十時より
「ユニット内大掃除」 豊間ユニット

望洋荘

- 六月 二 日（土）
豊間 吉田 勝則様（六九歳） 誕生会
- 六月 十二 日（火）
四倉 若松 智恵子様（九七歳） 誕生会
- 六月 二三 日（土）
豊間 有田 ミイ様（九四歳） 誕生会
- 六月 二五 日（月）
勿来 大橋 マキ斗様（九一歳） 誕生会

「後期高齢者医療制度被保険者証」の更新について

「後期高齢者医療制度被保険者証」の有効期限についても毎年七月三十一日となっております。こちらは、入居者様の現住所に直接送られる事になっております。ご自宅の方に保険証が届きましたら、七月三十一日までに「望洋荘」並びに「せんしゅう苑」にお持ち下さいますようお願い致します。

せんしゅう苑

- 六月 五 日（火） 午後四時より
「居酒屋」開催 みまや東
- 六月 七 日（木） 午後二時より
「ガストでティータイム」 みまや東
- 六月 十三 日（水） 午後二時より
「ガストでティータイム」 みまや南
- 六月 二四 日（日） 午後十二時より
「店屋物出前お食事会」 みまや西
- 六月 二七 日（水） 午後二時より
「ガストでティータイム」 みまや西



せんしゅう苑

- 六月 三 日（日）
みまや南 野口イク子様（九二歳） 誕生会
- 六月 二六 日（火）
みまや南 宮崎 ミツ 様（八九歳） 誕生会

編集後記

「せんしゅう苑・望洋荘」便り
平成二十四年五月三十一日発行
発行所 いわき市平豊間字合磯三十九番地
社会福祉法人 りんさく福祉会
地域密着型介護老人福祉施設 せんしゅう苑
電話 (0246)38-6331
介護老人福祉施設 望洋荘
電話 (0246)55-7373